

新潟市議会報告

平成27年度のすべての定例会において、一般質問に立たせていただきました。



平成27年<6月定例会>	6月15日	総括
1 人口減少社会におけるまちづくりについて		4回の定例会すべてにおいて、本会議場での一般質問の機会をいただきました。
2 地域コミュニティ協議会との協働について		
3 「大きな区役所、小さな市役所」を実現するための市役所改革について		
4 災害備蓄について		
平成27年<9月定例会>	9月9日	まず 福祉行政 については、放課後児童健全育成について、国の施策がしっかりと新潟市で展開できているかどうかを確認するとともに、先進他都市の事例を参考に、年齢や障がいの有無に関わらずすべての市民が「お互いさま」の精神で支え合う仕組みづくりについて提案しました。
1 新潟市の財産経営について		防災対策 では、福島県からの広域避難者に新潟市独自の支援をすべきではないかという質問に対して前向きな答弁があり、現在避難者向けのニーズ調査が行われています。その他、津波被害想定区域の備蓄物資の分散配置や地域の自主防災組織への支援強化などについて提案しました。
2 市の業務におけるリスクマネジメントの強化について		
3 対象者を高齢者に限らず、全ての市民を対象とした地域包括ケアシステムの構築について		
4 避難者への新潟市独自の支援について		
平成27年<12月定例会>	12月2日	新バスシステム については、高齢者がよりバスを利用してくださいよう、現在社会実験として行っている「シニア半わり」の本格実施を提案し、実現に向けて検討されています。
1 新バスシステムについて		市役所改革 については、私が職員時代に感じた区や地域ごとに異なる職員配置の平準化、公共施設の適正配置などを率直に投げかけてみました。区のあり方についても、8区では多すぎることを、区の再編を前提に積極的な検討を進めるべきという提案をいたしました。
2 食・農・伝統文化を市内外にアピールする戦略について		
3 学校統合に伴う廃校施設の有効活用について		
4 自主防災組織への支援について		
平成28年<2月定例会>	2月25日	そして、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用して、市民の皆さんのアイデアを募集し、私なりに噛み砕いて議場で質問しました。
1 人口減少、少子化、超高齢社会を前提とした区のあり方について		私は定例会ごとに必ず「 市政報告会 」を開催しています。そして「 市民の皆さんのお困りごとをお聞きする 」→「 現場にて原因、対策を探る 」→「 議会で質問、提案する 」→「 市政報告会で、市民の皆さんから再度ご意見をいただく 」というサイクルを回し続けたいと思っています。市民一人おひとりからいただくご意見、ご相談が何よりも私の糧となります。ぜひともお気軽にご連絡ください!
2 介護現場における課題解決について		
3 放課後児童健全育成について		
4 これまでの大規模災害への支援を生かした消防体制の強化について		

市役所20年の経験を子どもたちの未来へ。

新潟市議会議員(中央区選出)

伊藤けんたろう 市政活動レポート



ごあいさつ

新潟市役所を退職し、市議会議員として新たな使命をいただいてから、1年余りが経過しました。

市役所職員として働いていた20年間に、市民の皆さんから育んでいただいた社会貢献意欲は、議員という重い立場をいただいたことにより、一層高まっています。

市役所には担当があり、いわゆる「縦割り」の中で働きますが、議員には担当はありません。これまで経験したことのない分野の仕事に携わることにより、自己成長を実感しています。

特に、市民の一人おひとりからいただくご相談やご意見に答えることは、何事にも代えがたい成長の糧です。お困りごとや、市政に対するご意見をいただけるからこそ、議場に

立ったときに、市民の皆さんの視線で、よりよい市政運営について発言できるわけです。

しかしながら、私が新潟市民全員の立場に立つことはできません。だからこそ、現場に赴き、ご意見やお困りごとをお聞きして、議会に臨む。この繰り返しが必要なのです。このことは、現場主義である私にとってかけがえのない、やりがいのある仕事です。

私が志を立てたときにお誓いした「先輩方が築いてくださった、この豊かな新潟市を、われわれの世代で一段と発展させ、未来の子どもたちにバトンタッチする。」この誓いを胸に、地に足を付けて全力で頑張ります!

伊藤けんたろう事務所

お気軽にお立ち寄り下さい。どうぞ宜しくお願いいたします。
〒950-0984 新潟市中央区女池東1-5-11 アイメドテック本社ビル

TEL.025-282-7500
FAX.025-282-7503

[E-mail] info@itokentaro.com
[WEB] www.itokentaro.com



PROFILE

伊藤けんたろう (42歳) 趣味：スポーツ全般、美術鑑賞、読書

経 歴	
1973年(昭和48年) 10月18日新潟市に生まれる。	2012年(平成24年) 中央区役所健康福祉課/地域福祉係長着任
1986年(昭和61年) 新潟市立東山の下小学校卒業	2014年(平成26年) 主幹に昇任
1989年(平成元年) 新潟市立藤見中学校卒業	2014年(平成26年) 12月 政治の志を持って依願退職
1992年(平成4年) 新潟県立新潟南高等学校卒業	2014年(平成26年) 株式会社メイクスジャパン取締役に就任
1994年(平成6年) 新潟市役所入庁/市民病院総務課配属	2015年(平成27年) 4月 新潟市議会議員(中央区)当選
1998年(平成10年) 企画財政局財政部市民税課配属	4月 株式会社メイクスジャパンを退職
2002年(平成14年) 市民局市民生活部防災課配属	2015年(平成27年) 5月2日 新潟市議会議員に就任
2008年(平成20年) 国体推進部国体競技課配属	2015年(平成27年) 5月 市民厚生常任委員、人口減少対策調査特別委員に着任
2010年(平成22年) 地域・魅力創造部APEC開催推進課配属	2015年(平成27年) 5月 新潟市社会福祉審議会委員(児童福祉専門分科会)に着任
2011年(平成23年) 地域・魅力創造部政策調整課配属	2015年(平成27年) 5月 市民厚生常任委員会副委員長に就任
2011年(平成23年) 中央区役所健康福祉課配属	2016年(平成28年) 5月 市民厚生常任委員会副委員長に就任
係長に昇任(37歳)/子ども支援係長着任	



活動報告 2015年8月～2016年5月

私、伊藤けんたろうは市民の皆様のために日々活動を行っております。さまざまな現場に赴き、お一人おひとりと直接お話しすることを心がけています。内容につきましては、私のホームページ上からもご覧いただけます。

2015年8月5日
共生型福祉サービスのトップランナー、富山県を視察。



子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず、お互いが助け合う共生型福祉サービスのトップランナーの富山県。共生型グループホーム「らぶあけぼの」さんにお邪魔しました。一階は認知症高齢者、二階は知的障がい者が住まう施設です。一つ屋根の下、自然な交流が生まれています。認知症といえども温かく経験豊かなお年寄り、知的障がいであってもそれぞれに持っている得意なワザが不思議な化学反応を起こして、スタッフさんも驚くほどのいい雰囲気にも包まれた施設になったとか。最近では、地域住民の皆さんとの交流も盛んで、道行く中高生も気軽に声を掛けてくれるそうです。スタッフの皆さんも、入居者の皆さんも、笑顔がとっても素敵だったのが印象的です(^^)

2015年9月26日
常総市での災害ボランティア、無事完了しました



4人のチームメイトとともに床下の泥上げや農具の後片付けなどを行いました。中越地震、7.13水害、中越沖地震、東日本大震災など、近年の災害は、市役所で公務として災害対応をしていたため、ボランティアとして従事させていただくのは、平成15年の宮城県北部地震以来13年ぶり。当時から比べると、ボランティアする側も受け入れる側も、成熟していて、気持ちよく手伝いさせていただくことができました。特に受け入れ側の地元社協を中心としたボラセンの皆さんのご活躍が

りは、近年の大災害の教訓がしっかりと活かされていると実感しました。

2015年11月6日
共生型小規模多機能居宅介護施設「ななふく」さんにて、ボランティアをさせていただきました。



共生型小規模多機能居宅介護施設「ななふく」さんは、かねてから私が新潟に広めたいと議場でも訴えてきた、高齢者、子ども、障がい者、障がい児が寄り添って支え合う、いわゆる「富山型デイサービス」を唯一新潟で運営されている事業者さんです。利用者の皆さんと脳トレ体操や歌、ストレッチなどを楽しみました。とにかく皆さん、明るく、元気でいらっやいました。そして午後1時半頃、豊学校のピカピカの一年生、二人の男の子が参上!リビングは一気に、一段と明るくなり、子どもたちも、おばあちゃんも笑顔。共生型の威力をまざまざと見せつけられました! まだまだたくさんの課題はあるそうです。新潟のパイオニアとして、確実な成功をおさめていただくためにも、市議として全力でバックアップする所存です!

2015年12月13日
「新バスシステム」についてお伝えしてきました。



長嶺、万代、沼垂地区の皆さんにお招きいただき、新バスシステムについて、前回の集会(10月5日)でいただいたご意見に関する私の活動報告と、ご意見をうかがうお時間をいただきました。

あらかじめ勉強してきた、「バランスシート(貸借対照表)に基づく新潟市の財政状況」についてお伝えし、市民の皆さんからの一定のご理解とご協力が必要であることをお伝えしました。

皆さん、こんな新米議員に期待して下さって、最後には拍手まで頂戴しました。新米議員にとっては、皆さんからのご要望や期待が一番の栄養になります。これからも現実を恐れず、お伝えすべきは実直にお伝えする議員でありたいと思います!

2016年2月14日
「スペシャルオリンピックス2016新潟」のプレゼンターをさせていただきました。



スペシャルオリンピックス2016新潟、朱鷺メッセ会場で行われたフロアホッケーの表彰プレゼンターをさせていただきました。

一見、簡単そうに見えるフロアホッケーですが、以前私がチャレンジしたときには、まともにシュートもできなかったほど、練習が必要な競技です。全国から集まった選手は目を輝かせて、日頃の厳しい練習の風景が目に浮かぶようでした。実行委員の皆さん、ボランティアの皆さん、そして、選手、ご家族の皆さん、大変お疲れ様でした。

2016年3月27日
「夢ワークショップ2016新潟」のボランティアスタッフをさせていただきました。



小学校2年生から中学校3年生までの16人が心に秘めた夢を色紙に描いて、道行く人に伝え、応援シールを貼ってもらうこのイベント。最後には、保護者の皆さんも加わって夢発表会。最初は恥ずかしがっていた子どもたちも、ゲームやワークを通じてリラックスし、心の扉が開いて夢が色紙に乗り移っていきました。

受付で見た子どもたちの顔と、夢を発表した後の頼もしい顔とが、あまりに変わっていて、このイベントの凄さと、子どもたちの心の弾力性に感動しました!

2016年4月8日
西新潟整形外科通所リハビリテーションWATTOで一日施設体験をさせていただきました。



施設での介護予防やリハビリというと、転倒防止の運動や、筋力維持のエクササイズなど、みんなで同じ運動を行うイメージがありました。こちらでは、それに留まらず、それぞれ在宅で生活できるように、個々人の身体やライフスタイルに合った介護予防、リハビリを行っていました。例えば足腰が弱くなったからといって、階段を取り除くことはできません。その方にとっての介護予防は、階段を昇り降りできる筋力を維持することです。

「外に出たい」、「歩きたい」という意欲に寄り添って応援するのもWATTOのポリシー。理学療法士、介護士、相談員などの皆さんが丸くなって利用者お一人おひとりに合った意欲を応援する、今後の介護予防やリハビリのあるべき原点を教わったような気がします。

2016年5月21日
横浜市の幸ヶ谷放課後キッズクラブにお邪魔しました。



横浜市では、放課後児童クラブ(新潟市でいう「ひまわりクラブ」と)、放課後子供教室(新潟市でいう「ふれあいスクール」と)とを一体化した「放課後キッズクラブ」を運営しています。運営はすべて学校施設内で行われ、広いスペースを子ども達がはしゃぎまわる、のびのびした雰囲気だということで、早速現場を拝見にありがとうございました。

新潟市でも、できるだけ子ども達が広いスペースでのびのびと放課後を過ごせる仕組みづくりが必要だと再認識しました。

伊藤けんたろう 9つの提言。

1. ひまわりクラブをもっと便利に!
 2. 地域コミュニティの取り組みを全力でバックアップ!
 3. もっと市政の透明化を!
 4. がんばる地元企業の発展を全力で後押し!
 5. 災害に強いまちづくりを!
 6. 新潟市民を新潟ファンにする取り組みを応援!
 7. 健康づくりに取り組める場を!
 8. 新潟のための「人づくり」を!
 9. 空き家の魅力的な利活用を!
- この9つの提言をもとに日々活動しています!

9
POLICY PROPOSALS

ホームページを開設いたしました。



ホームページを開設いたしました。市民の皆さまとの交流や、視察のご報告、市議会のようなすなどをアップしていきます。是非ご覧下さい。

<http://itokentaro.com>

伊藤けんたろう 検索



facebookで皆さんの声を募集



フェイスブックにて40歳以下の皆さまからの声を集めるページ「U-40あなたのアイデアを新潟市議会で発言させてください!」を開設いたしました。ここで集められた声をもとに、議会にて質問させていただきます。ぜひ皆さまの声をお寄せ下さい。

<https://www.facebook.com/kentaro.u40>

U-40 あなたのアイデア

